



三井小学校だより

第15号

平成28年1月28日

輪島市立三井小学校

〈E-mail〉 mies201@po.city.wajima.ishikawa.jp

教育目標 「自分を高める子」を育てる

*よく考え やり通す子 *心の豊かな子 *体のじょうぶな子 (文責:小田原)

寒さに負けず、身体を鍛えよう!

今年はずっと暖冬で、雪も余り降らないのではないかと思っていたところ、約30年ぶりの大雪に見舞われ、全国ニュースでも輪島市内の様子がよく放送されました。大雪のために学校も臨時休校となりましたが、お家の雪かきを手伝ったと得意げに話してくれた低学年の子どもたちがいました。頼もしいですね。



学校では朝早くから地域の方が除雪を手伝っていただきました。また、高学年の子どもたちが玄関前の堅くなった雪を汗をかきながら一生懸命どけてくれました。高学年にはこれからも全校児童のお手本となって進んで手伝ってくれることを期待しています。

さて、子どもたちは2月9日の「校内なわとび大会」に向けて、休み時間になわとび練習に取り組んでいます。午前中の練習で跳べなかった技が午後には跳べるようになったり、上級生が下級生にコツを教えたりとみんな寒さを吹き飛ばすくらいにがんばっています。当日が楽しみです。このように体力をつけることで身体も鍛えられ、これから流行るであろう風邪やインフルエンザの予防にもなります。

2月行事予定

1	月	安全点検 児童委員会	12	金	あての木園との交流会 (低・中学年)
2	火	詩吟許証授与式			詩吟教室 5限
3	水	学校関係者評価委員会 15:00	15	月	研究会のため午後カット 下校13:30<SB13:35>
4	木	避難訓練 ALT	16	火	研修会のため5限まで 下校14:45<SB15:00>
5	金	3校合同輪島中学校入学説明会(河原田小) マイ椀展示～11日(輪島漆芸美術館)	18	木	保育園児体験入学(3限) ALT PTA 下校指導【池上・堀下】
6	土	土曜授業(最終)	22	月	クラブ 6限
9	火	校内なわとび大会	24	水	第2回家庭学習ハイパー週間(～3/1)
10	水	図書ボランティア読み聞かせ 8:10 輪島分校との交流会 5・6年	25	木	ALT 集金袋配付
11	木	建国記念の日	26	金	6年生を送る会 集金日

*マイ椀展示

- ・日時 2/5(金)～2/11(木)
午前9時～午後5時(入館午後4時半)
- ・場所 輪島漆芸美術館
- ・内容 輪島市の6年生がデザインした模様をお椀に沈金で表現しました。183点が展示されます。



*3校合同輪島中学校入学説明会

- ・日時 2月5日(金) 14:00～16:00
- ・場所 河原田小学校(理科室・食堂)
- ・内容 出前授業(理科)
中学校の先生と授業を行います。
入学説明会・質疑応答



* 6年生を送る会

- ・日時 2月26日(金) 13:30~15:30
- ・場所 三井小学校(体育館)
- ・内容 各学年の発表、6年生へのプレゼント渡し、6年生の出し物等、これまでお世話になった6年生に感謝の意味をこめた会を開催します。ぜひ、ご来校ください。くわしいプログラムなどは後日お知らせします。



自学ノート 充実してきました!

~家庭学習について~

10月から重点的に取り組んでいる「家庭学習の習慣」が少しずつよい結果を出しています。どの学年も目標時間まで学習するようになってきました。特に今回の「家庭学習ハイパーウィーク」においては、子どもたちはこれまで以上に学習時間を意識したり、同じ中学校区内の全学校でいっしょに取り組んでいるという気持ちが見られたりしたと感じました。保護者の方々にもご協力いただきましてありがとうございました。また、内容についても高学年では予習を授業に生かすことも念頭に置きながら進めてきたことで、内容にも工夫が見られるようになりました。1年生でも上級生顔負けのノートを書いています。この積み重ねを大事にし、これからも指導していきたいと思えます。

先日、『はなまるノート』の表彰を行いました。きれいな見やすいノート・工夫のあるノート・予習や復習を生かしたノートに視点を当て、優秀賞と努力賞を贈りました。これからも、より良いノートづくりや学びをしている子どもたちを表彰し、意欲を高めていきたいと思えます。どうぞ、ご家庭でもがんばっている姿に対しての声かけやアドバイスなどをお願いいたします。

昨年の学校だより No.9の『家庭学習を通して育てたい子どもの姿』をもう一度お伝えします。

~家庭学習を通して育てたい子どもの姿~

- * 規則正しい生活リズムが送れる子
- * 生活時間を有効に使うことができる子
(勉強や読書、手伝いに使う時間が、テレビやゲームに費やす時間より多い子)
- * 家庭学習の習慣や方法を身につけた子
- * 基礎的・基本的な学習内容を身につけた子
- * すすんで学ぶ好奇心(関心・意欲)を身につけた子
- * 継続する、粘り強い心を持った子



将来に向けての大切な基礎基盤づくりが小学生の時期です。まず、「続けられた」という自信が意欲につながります。継続すれば結果がついてきます。中でも、「何のために・何を・どのようにするか」を考える「**段取り力(計画力)**」をつけていくことが今後生きてきます。

【家庭学習ハイパーウィーク時間集計】※読書時間含む

(分)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平日	75.2	73.8	73.2	74.6	99.6	81.7
休日	69.5	57.5	65.8	76.7	88.3	93.6

(目標時間: 低20分 中40分 高60分)

~保護者感想~

- ・学習時間を気にしながら勉強できたと思います。
- ・学校で勉強できたことを学童プラスお家でも勉強できました。
- ・だらだらする傾向があります。もっと集中してできるといいです。
- ・目標に向かってがんばって下さい。

ご協力、ありがとうございました!

【はなまるノート入賞者】

「はなまる賞」



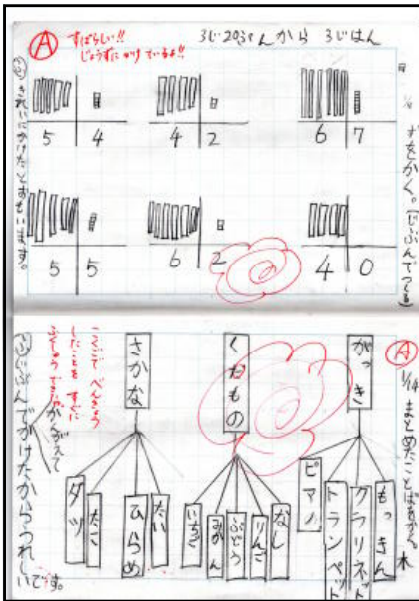
1年 細川 雪乃 1年 前田 和輝 2年 谷内 友優
4年 坂出 船 5年 地原 真唯 6年 岩崎 秀成



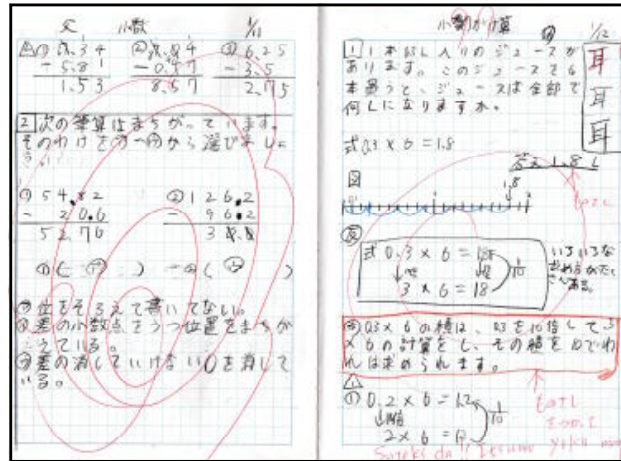
「努力賞」

2年 正武田大悟 6年 萩野 つき 6年 細川 優雅 6年 松本 亮真 6年 山下 寛人

【 はなまるノート紹介 】 ※その他のノートも職員室前廊下に掲示してあります！

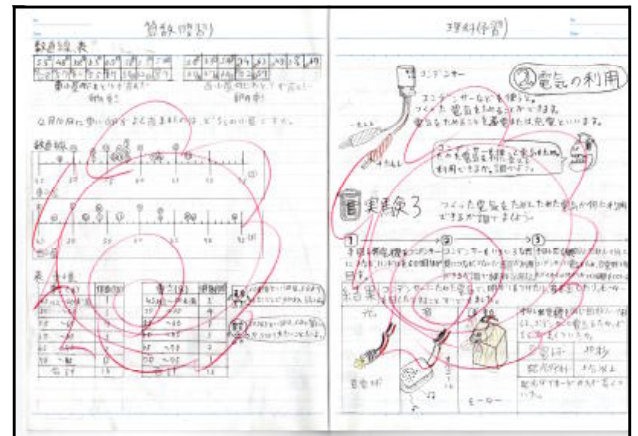


〈1年〉その日に習ったことをすぐに復習。低学年でも何を書こうかと考えて取り組んでいます。



〈4年〉算数の教科書問題の復習。授業の算数ノートの書き方のようにきちんとまとめられています。

〈6年〉左ページに算数の復習。右のページに理科の予習。絵や表を使ったポイントを絞った見やすいノートづくりができています。



校内年賀状コンクール

冬休みの課題でオリジナル年賀状を作りました。アイデアいっぱいのもものばかり。かわいいおサルさんがたくさん集まりました。

★入賞者

1年 細川雪乃、前田和輝 2年 岡田蒼仁、小森優奈、正武田大悟
3年 池上寿清 4年 上野和孝、坂出 船
5年 地原真唯 6年 西山小雪 (★5個)、萩野つき
松本亮真、山下寛人、山本優喜



「輪島市子ども作品展」入賞 (冬休み書き初め)

★金賞 4年 坂出 船
★銀賞 6年 萩野 つき ★銅賞 2年 正武田大悟 谷内 友優

非行被害防止講座 1月28日(木)

穴水町ICT支援員の堀井美香さんを招き、「子どもたちをインターネットから守るために」と題して、インターネットによるゲーム依存や通信機器によるSNSの危険性などについて学習会をしました。3DSの仕組みや個人情報保護の大切さを実際に具体的な操作を交えながら説明していただきました。



また、機器に関わっている時間と学力の関係や「早寝・早起き・朝ご飯」の基本的な生活習慣の大切さについても知ることができました。日頃から親が子どもたちの様子をしっかりと把握し、使う際のルールづくりをよく話し合っ決めていくことが大切であることを教えていただきました。保護者や職員にとって知らないことがたくさんあり、大変勉強になった研修会でした。

～感想～

*最後の、「子どもを守れるのは親だけ」というところがとても印象に残りました。本当にその通りだと思います。うちはまだゲーム機を持っていないのですが、買う時はしっかりルールづくりをしてからにしようと思います。

*私の知らないことがたくさんでした。家に帰り、一つ一つ子どもに確認しようと思いました。

*ゲームのことについては詳しくわからないので、子どもたちの遊びについても知らなかったです。でも、今回のお話で、ゲームを通しての他者とのつながりとの良い面・悪い面を知ることができて良かったです。又このような機会があればお話を聞きたいです。

*毎日のように3DSを使ってゲームをしているので気をつけなくてはいけないと思っていたので話はよくわかりました。

*子どもたちにもこのような講座を行って欲しいです。

第3回「俳句教室」が行われました。1月21日(木)

地域の「ささゆり会」の方々に指導していただいている俳句教室も3回目となりました。今回は冬の句を詠みました。始めに、季語についてのきまりごとや季語から派生する物事をイメージして作ると、それを讀んだ人が自分なりの情景を浮かべることができることなどをお話ししてもらいました。3回目ともなると子どもたちも少々余裕があるように見えてましたが、夏や秋ほど冬の季語は簡単ではないようで、じっくり考えて作っていました。講師の先生方からアドバイスをもらったり、ほめられたりして嬉しそうでした。最後に全員の句を讀み上げてもらいました。

今年度から始めたこの俳句づくりで、子どもたちには自然を感じる力や創造する力が少しずつついてきました。(子どもたちの句は次回紹介する予定です。)

